

12月議会 一般質問 続報

高校卒業まで医療費の完全無料化を!

民報 おうしゅう 読者版

発行 赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021

奥州市議会12月定例会は、13日に終了しました。日本共産党市議団は、公約実現、住民要求実現をめざし全員が一般質問に登壇し、倉成淳市長の市政運営の考え方について質しました。今回は今野裕文議員の一般質問の概要について紹介をいたします。

今野裕文議員は、令和5年度の予算編成方針について質問し、日本共産党市議団が繰り返して提言してきた高校卒業までの医療費の無料化や国民健康保険税の子どもの均等割りの免除についてどのように検討されているか質しました。

「未来投資枠」を設ける

倉成淳市長は、引き続き安定的な財政運営を目指すことを基本方針とし、財政計画から上振れした財政調整基金を有効に活用するため新たに「未来投資枠」として予算枠を設け市長直轄プロジェクトなど市政発展に結びつく事業を推進することを表明しました。



今野 裕文 議員

医療費無料化は「未来投資枠」で検討している

その上で、倉成市長は、高校卒業まで医療費を無料化するのに9000万円ほどが必要だとし、財政健全化への取り組みの中でハードルが高いが、「未来投資枠」での無料化を検討していることを明らかにしました。

子どもの「均等割」免除は難しい

子どもの「均等割」免除について倉成市長はまた、国民健康保険の広域化に伴う運用統一に向けた対応を行っており、市単独での軽減は難しいと判断していると回答しました。そして、免除の必要性について強く感じていると、国が責任をもって制度化すべきもので、全国市長会を通じて引き続き要望していくと述べました。



旧統一教会についての市長見解は?

今野裕文議員は、岩手県選出の藤原崇衆議院議員、広瀬めぐみ参議院議員が、旧統一教会(世界平和家庭統一連合)との関係があるとの新聞報道などを紹介し、靈感商法と高額献金、集団結婚など反社会的活動は思想・良心の自由、信教の自由をはじめ基本的な人権を蹂躪するもので、多数の自民党議員と交わした「政策協定」に示される憲法改定、ジェンダー平等への敵対、日本共産党への敵対などは、日本の平和と民主主義にかかわる問題だとして、奥州市との関係の有無、市民から

市民からの相談件数等について公表すべき

倉成淳市長は、平成20年岩手・宮城内陸地震で災害義援金6万円を県内関連団体から受けとっているとし、その他の関係は確認されていないと回答しました。

靈感商法(開運商法)に関する消費者生活相談件数

年度	奥州市
2013年度(H25)	1
2014年度(H26)	5
2015年度(H27)	3
2016年度(H28)	0
2017年度(H29)	0
2018年度(H30)	1
2019年度(R1)	1
2020年度(R2)	2
2021年度(R3)	0
2022年度(R4)	1

資料提供: 市民環境部市民課

無」を含めて公表できないと述べました。(靈感商法に関する相談件数は左表)
市長としての見解は、庁内での検討がされていないとして見解を明らかにしませんでした。



紙 智子 日本共産党参議院議員

北海道の酪農・畜産危機

オンラインつどい

北海道の酪農・畜産危機オンラインつどいに参加しました。

道内各地からオンラインでつながりました。はじめに厚岸町の酪農家の小野寺さん、豊富町の渡辺さんから、地域の現状が報告されました。

こんな減収は初めてだという声が出されている。自分のまわりでも12月で二戸が離

12月18日

農。来年3月に離農することを決めている人も出てきている。また、豊富町では、すでに離農した人のあとに若手が入ってやっているが、来年以降不安を感じているといっています。

加工原料乳の生産者補給金単価の大幅な引き上げを期待していたが、期待はずれだったという声は、どこからも共通して出されていました。

私からは、12月10日に閉会となった国会報告と、日本共産党の緊急対策など話し、その後オンラインで8人の発言がありました。この後も実態を具体的につかみ、



紙智子ホームページより